

No	19									
指標名	脳卒中連携パスの使用率									
定義	$\frac{\text{(分子)分母のうち、脳卒中パスで地域連携診療計画加算を算定した患者数}}{\text{(分母)急性脳梗塞患者の生存退院患者数}}$									
結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>当院 (%)</th> <th>全国中央値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2016年度</td> <td>33.3%</td> <td>4.9%</td> </tr> <tr> <td>2017年度</td> <td>37.2%</td> <td>10.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(当院)2016年度、2017年度における当院のデータ  (全国)2016年度、2017年度に実施した病院の中央値 (2018/04/25 時点)  ※他院との詳細な比較につきましては「<a href="#">全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業</a>」のページをご参照ください。</p>	年度	当院 (%)	全国中央値 (%)	2016年度	33.3%	4.9%	2017年度	37.2%	10.6%
年度	当院 (%)	全国中央値 (%)								
2016年度	33.3%	4.9%								
2017年度	37.2%	10.6%								
コメント (解説)	<p>当院は2008年から愛媛県脳卒中連携パスを使用しています。  連携パスを使用するためには、入院1週間以内にご本人、ご家族に連携病院の情報提供を行い、パス使用の同意を取得することが必要となります。</p> <p>当院の脳卒中患者は重症度の高い脳卒中患者が多いですが、連携パスの使用率が高いのは、後方病院と常に緊密な連携を取っており、入院早期から地域連携室のスタッフと共に正確な情報提供が出来ている結果と思われます。</p>									